

# 定期予防接種

予防推進担当

☎58-6038

～予防接種は市内実施医療機関で行っています～

(令和8年3月現在)

予  
防  
接  
種

予防接種名		対象年齢	接種回数	受け方
ロタウイルス	ロタリックス (経口接種)	出生6週0日後～ 24週0日後までの間 にあるもの	2回	1回目 → 2回目 27日以上の間隔を置いて
	ロタテック (経口接種)	出生6週0日後～ 32週0日後までの間 にあるもの	3回	1回目 → 2回目 → 3回目 1回目と2回目、2回目と3回目をそれぞれ27日以上の間隔を置いて
	※ワクチンは2種類あります。 ●2回目以降は1回目と同じ種類を接種します。※初回接種の標準的期間は生後2か月から出生14週6日後までとされています。			
ヒブ	※五種混合を接種する場合はヒブが含まれているため、ヒブ単独で接種はしません。	生後2か月～ 5歳未満	生後2～6か月で開始した場合 初回3回、追加1回(合計4回)	1回目 → 2回目 → 3回目 → 追加 7か月以上の間隔を置いて (第一期追加)
小児用肺炎球菌		生後2か月～ 5歳未満	生後7か月以上で接種を開始する場合は接種回数が異なります	1回目 → 2回目 → 3回目 → 追加 60日以上の間隔を置いてかつ1歳の誕生日以降 (第一期追加)
B型肝炎		1歳未満	3回	1回目 → 2回目 → 3回目 1回目から3回目は139日以上の間隔をおく 1→2回目は27日以上の間隔を置いて
BCG		1歳未満	1回	標準的な接種期間は生後5か月～8か月
五種混合 (百日せき・ジフテリア・破傷風・ポリオ・ヒブ)	第一期 ※四種混合を接種している場合は五種混合を接種しません。	生後2か月～ 7歳6か月未満	初回3回 追加1回 (合計4回)	1回目 → 2回目 → 3回目 → 追加 6か月以上の間隔を置いて (第一期追加)
二種混合 (ジフテリア・破傷風)	第二期	11～13歳未満 標準対象学年 小学校6年生	1回	乳幼児期に五種混合、四種混合、三種混合または二種混合でジフテリアと破傷風の予防接種を3回以上接種している人が乳幼児期につけたジフテリアと破傷風の免疫を持続させるために接種します。
麻しん風しん (MR) 混合	第一期	1歳～2歳未満	1回	麻しん(はしか)・風しん(三日はしか)にかかった人は、かかっていない病気のワクチンを接種することもできます。
	第二期	小学校就学前の1年間 (年長児クラス該当)	1回	令和8年度(令和8年4月1日～令和9年3月31日)は令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれの人が対象で年度内が接種期間です。
水痘		1～3歳未満	2回	1回目 → 2回目 3か月以上の間隔を置いて 標準的には生後12～15か月で1回目を接種し、6か月～1年の間隔を置いて2回目を接種
日本脳炎	第一期	3歳～ 7歳6か月未満	初回2回 追加1回 (合計3回)	1回目 → 2回目 → 第一期追加 → 第一期 1→2回目は6日以上の間隔を置いて(1週間以上) 6か月以上の間隔を置いて(標準的にはおおむね1年後)
	第二期	9～13歳未満	1回	
【特例】平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの人は、20歳未満の間、合計4回まで接種できます。				
子宮頸がん (HPVワクチン)	※令和8年4月1日より 定期接種は9価のみに なる予定です	小学校6年生～高校1年生に相当する年齢の女子 標準的接種年齢: 中学1年生に相当する年齢	3回もしくは2回 9価ワクチンは、15歳未満の場合は2回接種も可能です。	1回目 → 2回目 → 3回目 最短1か月以上の間隔をおく ※最短でも2→3回目は3か月以上の間隔をおく 3回接種する場合 標準的には、2か月の間隔を置いて2回目を接種し、3回目は1回目から6か月の間隔を置いて 2回接種の場合(15歳未満の人に限り) 標準的には、6か月の間隔を置いて2回目を接種する。初回から2回目までの接種は最低5か月以上間隔をおく。但し、2回目を5か月未満で接種した場合は3回目の接種が必要です

●予防接種の対象年齢の「〇歳未満」とは誕生日の前日までです。

※予防接種対象者は接種時点で和泉市に住民登録があり、各予防接種の対象年齢内で、法律で決まっている接種回数内の人です。

※実施医療機関は7～8ページを参照ください。